新型コロナウイルス感染症等への対応と受験生へのお願い

新型コロナウイルス感染症等の感染拡大を防止し、受験生の皆さまが安心して受験できる 環境を確保するため、以下の事項にご協力いただきますようお願いいたします。

【受験できない方】

- ・学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(新型コロナウイルス感染症,インフルエンザ,麻しん,水痘等)に罹患し治癒していない場合又は罹患した疑いがある場合。 ※ただし,症状により医師が感染の恐れがないと認めた場合はこの限りではありません。
- ・新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験当日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中 の場合。
- ・試験当日の検温で、37.5度以上の発熱がある場合。
- ・保健所から新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者として健康観察や外出自粛を要請されている方や過去2週間以内に政府から入国制限,入国後の観察期間を必要とされている国・地域から日本に入国した方。
 - ※ただし、発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者の場合は受験できる場合があります。 詳細については、下記の【無症状の濃厚接触者について】を確認してください。

上記の内容により、入学試験当日に受験できない場合、<u>追試験等の特別措置及び入</u>学考査料の返還は行いません。

【無症状の濃厚接触者について】

- ・下記に示す条件のもとで受験できる場合があることから、受験前に大学に問い合わせ、受験の 可否を確認してください。
 - ①初期スクリーニング(自治体による PCR 検査及び検疫所における抗原定量検査)の結果、 陰性であること。
 - ※検査結果が判明するまでは受験不可とする。
 - ②受験当日も無症状であること。
 - ③公共の交通機関(電車・バス・タクシー・航空機(国内線)・旅客船等)を利用せず、かつ、 人が密集する場所を避けて試験場に行くこと。
 - ④終日,別室で受験すること。

【試験前日までのお願い】

- ・日頃から手洗い・手指消毒,咳エチケットの徹底,身体的距離の確保,「三つの密」(密集,密 接,密閉)の回避などを行うとともに,バランスのとれた食事,適度な運動,休養,睡眠など体 調管理を心がけてください。
- ・他の疾病への罹患等のリスクを減らすため、各自の判断においてインフルエンザワクチンその 他の予防接種を受けておくことが望ましい。
- ・試験日の7日程度前から、朝などに体温測定を行うこととし、体調の変化の有無を確認してください。
- ・試験日の2週間程度前から発熱・咳等の症状がある場合には、あらかじめ医療機関を受診し、 適切な治療を受けてください。
- ・「新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA: COVID19ContactConfirmingApplication)」は、利用者が新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性がある場合に通知を受けることができることから、これを活用することが望ましい。なお、通知を受けたことが直ちに濃厚接触者であることを意味するものではありません。

【試験当日における対応】

- ・試験当日は症状の有無にかかわらず、マスクを持参し、昼食時や試験監督者等から指示があった場合を除き、常に着用してください。
 - ※何らかの事情によりマスクの着用が困難な場合は、受験上の配慮申請を行っていただく必要がありますので、必ず事前に大学に問い合わせてください。
- ・試験当日の検温で、37.5度までの熱はないものの、発熱や咳等の症状のある受験生は、その旨を試験監督者や案内誘導のスタッフへ申し出てください。
- ・試験監督者や案内誘導のスタッフもマスクを着用します。なお、監督者等の指示が聞き取りづらい場合は、速やかに申し出てください。
- ・試験開始前に発熱・咳等の症状の有無を試験監督者より確認する場合がありますので、症状がある場合にはその旨申し出てください。
- ・試験会場で非接触体温計等による検温を実施することがあります。
- ・試験室や控室には速乾性アルコール製剤等を設置しますので、入退室を行うごとに必ず手指の 消毒を行ってください。
 - ※何らかの事情により速乾性アルコール製剤等を使用することが難しい場合は、受験生自身で これに代わるものを準備し、手指の消毒を行うようにしてください。
- ・昼食は自席または指定された座席でとってください。なお、昼食時のゴミはすべて持ち帰るようにしてください。なお、大学内の食堂や売店は営業しませんので、昼食を必ず持参するようにしてください。
- ・休憩時間や昼食時等は他者との接触や会話は控えてください。

- ・試験当日,試験室や控室の換気のため窓の開放等を行います。非常に寒くなることが予想されますので,温度調節ができるように上着など暖かい服装を持参してください。
- ・試験終了後,混雑を避けるため,時差退出をお願いする場合があります。試験監督者や校内放送等での退出の指示があるまで自席で待機してください。
- ・使用済みのマスクについては、試験場内で廃棄せず、必ず自宅等に持ち帰ってください。
- ・帰宅の際には寄り道をせず、まっすぐ帰宅してください。
- ・帰宅後は、まず手や顔を洗うようにしてください。

問い合わせ先

京都市立芸術大学連携推進課入試担当 〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町 13-6

TEL: 075-334-2238 FAX: 075-334-2281